



KU EXPRESS

- 関西大学 プレスリリース -

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号 関西大学総合企画室広報課 TEL 06-6368-0007 FAX 06-6337-7078

2005.No.5 / 2005年5月16日

桂三枝文学部客員教授 記者会見のご案内

「笑いの人間学」実践編の初講義を終えて

日時：2005年5月24日(火) 午後6時から午後7時

場所：関西大学千里山キャンパス 第1学舎第3会議室

関西大学では、5月24日(火)午後6時から、今年度文学部にお迎えした桂三枝客員教授の記者会見を、関西大学千里山キャンパスの第1学舎で実施いたします。

この記者会見は、文学部総合講座「日本学」の「笑いの人間学」実践編の初講義が終わってから実施するものです。

受講生たちの印象と“笑いの文化”を教えることの手ごたえ、39年ぶりに再び始まった“キャンパスライフ”など、落語家・桂三枝の原点となった母校で実際に教壇に立った心境と今後の授業にかける熱い思いを語っていただきます。

また、桂三枝客員教授のもうひとつの出身大学で、二代目“学長”も務められた「落語大学」(関西大学文化会)の部員たちも出席の予定です。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、ご臨席・ご取材を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、桂三枝客員教授との協議の結果、そのご意向を尊重し、授業中の取材についてはお受けできなくなりましたので、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【記】

日時 2005年5月24日(火) 午後6時～午後7時

場所 関西大学千里山キャンパス 第1学舎第3会議室(別紙案内図参照)

所在地/大阪府吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前駅」下車、北出口より徒歩約10分

会見内容 文学部総合講座「日本学」(実践編)の初講義を終えて

出席者 桂 三枝 客員教授

芝井敬司 文学部長

奥 純 教学主任(「日本学」コーディネーター)

その他 落語大学の部員たち(部員の1人が当該授業を履修)

恐れ入りますが、準備の都合上、別紙FAX返信用紙にご記入の上、5月21日(土)午後5時までにファックスにてご返信願います。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 川瀬 北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL:06-6368-1131 FAX:06-6337-7078

桂 三枝(かつら・さんし)客員教授の主なプロフィール

本名・河村静也(かわむら・しずや)。1943年7月16日生まれ。大阪出身。1962年3月、大阪市立市岡商業高等学校卒業。1963年4月に関西大学商学部へ入学。在学中の1966年12月に落語家・桂小文枝氏(5代目 桂文枝)に入門。1964年にいわゆる創作落語として「アイスクリン屋」を創作。以来、古典落語の精神、形を現代に生かす数多くの新作を創作している。1975年12月の「YTV 上方お笑い大賞 金賞」の受賞を皮切りに、「花王名人大賞 落語部門・名人賞」(1981年)、「YTV 上方お笑い大賞 大賞」(1981年)などを受賞。1982年には「花王名人大賞 大賞」を受賞した。以後も「大阪府民劇場賞 奨励賞」(1983年)、「文化庁芸術祭」の「大衆芸能部門 第一部 大賞」(1983年)と「演芸部門 大賞」(2003年)を受賞。ラジオ・テレビ番組への出演では、1967年に「歌え! ヤングタウン」(毎日放送)の初代司会者をはじめ、「ヤングOh! Oh!」(毎日放送)、今年で35年目を迎える「新婚さんいらっしゃい」(朝日放送)などの司会を務めている。著書に「桂三枝爆笑落語大全集」全8巻(レオ企画)、「三枝の傑作落語大全集1・2・3」(角川書店)、「創作落語大全集」(メディアクラフト 牡牛座)、「爆笑落語大全集」全5巻(日本コロムビア)、「桂三枝大全集～創作落語125撰～」(キングレコード)。

ホームページ「席亭桂三枝のいっしょーい亭」(<http://www.1m.mesh.ne.jp/vrk/34/>)

2005年度「日本学」「笑いの人間学」の講義概要

大阪の人々は、人間が本来備えている「笑いの能力」を活かし、「笑い」を大切なものと考えて長年にわたって「笑いの文化」を育ててきた。それは、商人の町に生きる人々の生活の知恵として発達したが、そこに留まるものではない。笑うことによって人は人と親しみ、心のバランスを取り戻し、自由で柔軟な発想を手に入れ、創造性を高めることができる。大阪の「笑いの文化」には、人間がポジティブに生きるための奥深い知恵が込められているのであり、それは日本文化の世界に誇るべき一側面なのである。さて、われわれがニコリ微笑むとき、ワッハッハと笑い転げるとき、一体何が起きているのであろうか。実践と理論の両面から「笑いの文化」にアプローチする。

配当年次 1年次～4年次

授業時間 春学期 火曜日5時限(16時20分～17時50分)

実践編 桂 三枝・関西大学客員教授(全6回)5月24日、5月31日、6月7日、6月21日、7月5日、7月12日

理論編 井上 宏・関西大学名誉教授(全7回)4月12日、4月19日、4月26日、5月10日、5月17日、6月14日、6月28日

総合講座「日本学」について

文学部が開講する総合講座「日本学」は、学外の専門家を中心とした複数の講師が、さまざまなテーマのもとにリレー式の講義とデモンストレーションを展開する特色ある授業。半期完結型で年間2テーマ(「日本学」と)を設定し、「化粧の文化史」「現代日本のファッションと社会」「音の東西」「食文化の東西」「茶の文化史」など、多彩な領域にアプローチしている。

記者会見場 案内図 (<http://www.kansai-u.ac.jp/Guide-j/mapsenri.html>)



FAX返信用紙

恐れ入りますが、準備の都合上、当FAX返信用紙にご記入の上、5月21日(土)午後5時までにファックスにてご返信願います。

関西大学 広報課 宛て

FAX番号: 06 - 6337 - 7078

桂三枝客員教授 記者会見

総合講座「日本学」(実践編)の初講義を終えて

出席者 桂三枝客員教授、芝井敬司文学部長、奥純教学主任

日時 5月24日(火) 午後6時00分~午後7時00分

場所 関西大学千里山キャンパス 第1学舎第3会議室

ご出席

ご欠席

御社名			
部署名			
お名前			人数名
ご連絡先	TEL	FAX	
<備考欄> 取材について、ご要望などがございましたら、どうぞご記入ください。			

ありがとうございました。